

第 22 回日赤検査学術大会の開催にあたり

第 22 回日赤検査学術大会
大会長 畑中 宗博
(北見赤十字病院)

第 22 回日赤検査学術大会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。まず、2018 年 9 月 6 日に発生しました胆振東部地震で被災された多くの皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、第 22 回日赤検査学術大会を 2019 年 7 月 13 日（土）から 14 日（日）北海道北見市のホテル黒部において開催させて頂くことになりました。

本学術大会のテーマは「明日へもっとクロス ～未来の検査室を考える～」と題し、若い検査技師たちが未来に希望の持てる検査室を創るための出発点となる大会にしたいとの思いから決定しました。検査室運営が厳しさを増すこれからの時代、自己研鑽、チーム医療への積極的な参画を実施し、検査室として質の向上を目指していかねばなりません。本大会がその一助となることを願っています。

教育講演は、前会長でもあります北陸大学 医療保健学部教授の油野友二先生をお迎えし「今、臨床検査技師に求められるノンテクニカルスキル –教育現場からのアプローチ」と題し、将来の現場でチーム医療への活躍を期待したご講演をお願いしています。

特別講演は、斜里町立知床博物館 館長の村上隆広先生に「ヒグマは恐いが恐くない～知床の動物たちのほんとうの姿～」と題し、雄大な大自然が残る世界自然遺産になっている知床に住む動物たちの生態についてご講演をお願いしています。

また、多数の一般演題とランチョンセミナーも企画していますので楽しみにして下さい。

北見市は、昨年までどこにある街か誰も知らなかったと思いますが、平昌オリンピックカーリングで銅メダルを獲得したロコ・ソラーレ北見がある街といえば分かって頂けると思います。北見市は、玉ねぎの生産量・ホタテの水揚げ量・白花豆の生産量・エゾムラサキツツジ群落・水銀含有物リサイクル施設など沢山の日本一がある街です。また、他にも日本で初めてビール製造免許を取得した地ビールがあり、そしてお勧めは何と言っても焼肉でしょう！是非、滞在期間中に一度は行ってみたいかがでしょうか。

ポスターにも使わせてもらいました「メルヘンの丘」は、北見市から車で 30 分ほどのところにあり、小高い丘の上にたたずむ木が目印です。また、もう少し足を延ばせば（車で約 2 時間半位）知床まで行くことができます。温泉もホテルも美味しい物もあり、山登りも出来ます。北海道の雄大な景色と美味しい食べ物を楽しんで頂けると思います。

最後に、スタッフ一同、全国からの多くの皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

主催：日本赤十字社臨床検査技師会
担当：北海道ブロック

第 22 回日赤検査学術大会 学術大会企画予定

教育講演 7月13日(土)
「臨床検査技師に求められるノンテクニカルスキル
ー教育現場からのアプローチー」

講師 北陸大学 医療保健学部教授 油野 友二先生

文化講演 7月14日(日)
「ヒグマは恐いが恐くない
～ 知床の動物たちのほんとうの姿 ～ 」

講師 斜里町立知床博物館館長 村上 隆広先生

一般演題発表 7月13日(土)、7月14日(日)

ランチョンセミナー 7月13日(土)

日本赤十字社臨床検査技師会同窓会会議 7月13日(土)